

最終回

岩手県産オリジナル水稲品種 「銀河のしずく」



鎌を使って稲を収穫



手作業での田植えを体験



地元のおいしいお米を試食

このコーナーでは、平成25年11月1日に友好都市提携を結んだ岩手県粟石町から、旬な情報を定期的にお届けします。



粟石町観光キャラクター「しずくちゃん」

岩手県が10年の歳月をかけ開発したオリジナル水稲品種「銀河のしずく」は、平成28年に販売が開始された岩手県の新しいブランド米で、粒が大きく、白くて艶やか、軽やかな食感が好評です。日本穀物検定協会の食味ランキングでは、参考品種分野で岩手県独自品種として初の「特A」を獲得しました。粟石町でも「銀河のしずく」の生産に力を入れていて、今年度、町内では60の農業者が約200ヘクタールに栽培しました。ぜひおいしさを実感してみてください。

町内小学生が銀河のしずくの田植えと稲刈りを体験

ことしの5月と10月に、小学生が銀河のしずくの田植えと稲刈りを体験しました。田植え体験では児童がはだしになり、水田の感触を楽しみながら手作業で苗を植えました。稲刈り体験では、鎌を使って一つ一つ手作業で収穫し、米の生産について学びを深めました。

銀河のしずく一斉試食会

10月19日、粟石町内の全小・中学校で銀河のしずくの試食会が行われました。この試食会で振る舞われた米は、粟石町内の生産者から提供されたもので、「粟石町を含めた岩手県の誇れるお米、銀河のしずく」を子どもたちに味わってもらい、愛着意識と食育活動の推進を図りたい」という思いが込められています。銀河のしずくを食べた児童は「もちもちしている。弾力があっておいしい」と話し、生産者の愛情が込められた新米を味わいました。

こちら編集室

特集では、富士市を思い活動する人たちを紹介しました。それぞれ住む場所や活動内容は異なりますが、「富士市が好き」という熱い気持ちは共通でした。その思いに突き動かされるように取材を進める中で、私自身も一人の市民とし

て富士市をもっと好きになってきました。この特集が、市民の皆さんにとって、「ふるさと」を改めて考えるきっかけとなり、「私も富士市が好きだから、主体的にまちにかかわりたい」という気持ちにつながることを願っています。(山)

人口 254,219人 (前月比-54)
 男 125,808人 (-39)
 女 128,411人 (-15)
 世帯 105,529世帯(+57) 10月1日現在
 編集・発行 総務部シティプロモーション課
 〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
 ☎0545-51-0123 ☒0545-51-1456

お問い合わせ ☎

富士市コールセンター

おしえて
コパルふじ
53-1111

【受付時間】
8:30~18:00

土・日曜日、祝休日も受け付けます(年末年始除く)